

校舎の変遷について



学校の歴史と共に変遷を遂げていく学校の風景
懐かしい記憶の中でいつまでも生きていきます



上段右

- 国鉄徳島線の線路沿いに植えられた鈴懸はまだ小さく、運動場に人文字での校章。右にはプールまで続く通称「岬校舎」が見えます。(1965年5月航空写真)

下段右

- 生徒数の増加に伴って増築された旧体育館。南校舎はまだ建設されていません。学校周辺は田園風景です。(1982年卒業アルバムから)

上段左

- 正門から学校玄関を望む。木造2階建に板ガラスの窓と瓦屋根。学校名の表札も掛けられています。(1962年卒業アルバムから)

下段左

- 運動場に向かって立っていた時計台。高さ5メートル。昭和29(1954)年に建設され、その後の25年余りの間ずっと体育や部活動に励む生徒たちの姿を見守っていました。旧体育館が増築されるころには姿を消しています。(1970年卒業アルバムから)

